

産廃処理業の

95

優良化を考える

愛知県で廃棄物の処理に取り組む加山興業は、分別技術の更なる高度化を進めるとことで取引拡大を図っている。そうした中で優良性評価制度も排出事業者「アピール」でできる有力なツールと捉え、積極的に認定取得を進め、名刺に基準適合を明記するなどで排出事業者等「アピール」している。「アピール」も頑固な「ゴミ屋」としてキヤッチフレーズに、廃棄物を適正処理することと地球環境に貢献することを目指す同社の加山順一郎取締役は、優良化事業に取り組む意義や優良業者のあり方などを聞いた。(田中修)



算内容が飛び抜けて良いわけではなく、かと言って見せて恥ずかしいものでもない。設備投資等で一時的に数字が悪くなることもありますが、きちんと説明すれば理解してもらえます。当社は秘密事項というものは全くない時期に認定を受けており、他の自治体でも取得できる「アピール」のようは積極的に取得している。

「情報公開の項目等についても認定を取得するべきだと考えた。許可証にも基準適合がうたわれ示しているところもあると聞か、当社は特に気にしていない。決して決

算内容が飛び抜けている部分で、見て真似できるのだったら真似して貰って構わないと思っ

ている。例えば選別技術が一つのノウハウだが、毎日多種多様なゴミが来る。同じ顧客からでも同じゴミというのは二度と来ない。それを現場の担当者で都度最適な方法を考えながら選別・処理し

基準適合」と明記している。それは教育の問題だと思

う。欧州などでは幼稚園や小学校からゴミの分別やその意義等がしっかりと教育に組み込まれている。これが日本にはまだ不足している」

「アピール」として地球環境に貢献

「アピール」は良いと思っ

ている。ゴミを適正に処理・リサイクルすることを通じて地球環境を守っ

ていけるのだという強い意志を持って、業務に取り組んで行きたい」

すべて公開して信頼得る

「アピール」は良いと思っ

ている。ゴミを適正に処理・リサイクルすることを通じて地球環境を守っ

ていけるのだという強い意志を持って、業務に取り組んで行きたい」

「アピール」は良いと思っ

ている。ゴミを適正に処理・リサイクルすることを通じて地球環境を守っ

ていけるのだという強い意志を持って、業務に取り組んで行きたい」

「アピール」は良いと思っ

ている。ゴミを適正に処理・リサイクルすることを通じて地球環境を守っ

ていけるのだという強い意志を持って、業務に取り組んで行きたい」

加山興業取締役

加山順一郎氏

「アピール」は良いと思っ

ている。ゴミを適正に処理・リサイクルすることを通じて地球環境を守っ

ていけるのだという強い意志を持って、業務に取り組んで行きたい」